

# 第1テーマ 「だれもが自治会・町内会活動に参加しやすくなる方策」

※下表中の「○」は前回部会で出された意見, 「□」はPTAや市政協代表者会議のワークショップ等での意見

	現状	理想	実現のために必要なこと
1 地域活動の 参加促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 共働き世帯が増え, 日中は地域に人がいない世帯が増えている。</li> <li>○ 体育祭など休日のイベントの中で交流が生まれたり, 関係が深まったりしている。</li> <li>□ 近所では, 日常の助け合いや行事での関わりを通して, 世代間のつながりが安心安全につながっている。(PTA)</li> <li>□ 地蔵盆が充実してきており, 毎年必ず2日間実施し, 地蔵盆委員会を組織している。(市政協)</li> <li>□ 安心・安全のまちづくりの意識が高まっており, 地域内での住民のつきあいと声かけが盛んになっている。(市政協)</li> <li>□ 高齢者が多く, 活動に参加できる人が少ない(H30自治会・町内会アンケート)</li> </ul>	<p>様々な年代の方が世代を超えてつながり, 日頃からのあいさつや地域行事の開催を通じて, 近隣関係の大切さが見直されている。</p>	<p><b>&lt;住民相互のつながりを深める&gt;</b></p> <p>日頃からのあいさつの励行やイベントの開催など, 住民相互のつながりを深める取組を一層支援し, 安心して暮らせる近隣関係づくりを促進する。</p>
2 マンションに おける つながりづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マンションでは, 管理会社やサービスで課題解決できてしまうので, 自治会やグループに入る必要性が高くない。</li> <li>○ 街中のマンションでは, セカンドハウスとして購入する人もいる。そのため, 回覧板ではなく, 主に掲示板を用いて情報共有を図っているマンションもある。</li> <li>□ マンションの増加で住民同士の交流を図ることが難しくなっている。(市政協)</li> <li>□ 新旧住民で意見の違いがあったが, 行事での交流を通じて, 互いを受け入れることができた。(市政協)</li> </ul>	<p>マンション住民をはじめとした転入者と地域住民が積極的に交流し, 一緒に地域活動に参加している。</p>	<p><b>&lt;地域住民と転入者との交流を進める&gt;</b></p> <p>地域と連携した取組を行うマンションの好事例を発信したり, マンション事業者や宅地開発事業者と更なる連携強化を図ることで, 地域住民と転入者との交流を進める。</p>
3 地域の実情 に応じた 呼びかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域によっては, 誰が住んでいるのか分からない世帯もあり, 災害時に逃げ遅れた人がいないか把握できないおそれがある。</li> <li>○ 「災害時に備えて命を守るためにみんなでつながりましょう」という呼びかけや情報発信が必要である。</li> <li>□ 町内会がない, 町内会に入っていないという方からは, 「子どもが行事に参加できていない, 災害時に助けてもらえない」といった不安の声も聞かれる。(PTA)</li> <li>□ 登下校時のパトロール活動を通じて, 犯罪率の減少や子供のマナー向上につながっており, さらに親も一緒に活動するようになった。(市政協)</li> <li>□ 空き家, 民泊, 簡易宿舎への対応, 対策が出てきた。(市政協)</li> </ul>	<p>防災・減災や見守り活動などをきっかけとして, 地域の中で顔の見える関係を築き, 自分たちの地域の課題を把握し, 解決に向けて取り組んでいる。</p>	<p><b>&lt;関心の高いテーマでの呼びかけを行う&gt;</b></p> <p>防災・減災や見守り活動等, 地域住民の関心の高いテーマをもとに, 住民同士のつながりの大切さをあらためて呼びかけることを通じて, 地域活動への参加を促す。</p>
4 情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学区単位で情報を収集できるツールが少ないので, 地域の情報やコミュニティ活動情報を手軽に得られたらよい。</li> <li>○ 「地域に課題がない」と感じている人がいる。地域住民が地域の課題を共有できるよう, 地域情報を発信していくことが重要である。</li> <li>□ 町内会長が輪番制で, 地域に活動を浸透させることが難しい。(市政協)</li> <li>□ 門掃きや草刈りなどの見える活動を行うことで, 活動の意味を伝えることができる。(市政協)</li> </ul>	<p>地域の実情をみんなで共有し, 地域住民の多くが主体的に活動に参加できている。</p>	<p><b>&lt;地域活動が見える化する&gt;</b></p> <p>地域の活動情報が見える化し, 手軽に入手できるツールを整備するなど, 情報発信の取組を支援する。</p>

	誰に向けて	どういった取組が必要か
活動の例	高齢者や子育て世代, 学生など様々な年代の方々	地域活動に興味を持っていただくための広報を行う。 一例として, 市内の学生と連携し, 様々な年代が地域活動に関わる姿を描いた動画を制作・発信する。
	自治会・町内会等の設立や運営でお悩みの地域住民	自治会・町内会等の設立(スタートアップ)や再編・再出発(リスタート)を予定している地域に対して, 行政からの助言やサポートを受けやすくなる仕組みづくりを行う。
	地域住民	災害時の不安軽減や安心・安全の意識の向上等をテーマに, 自治会・町内会への加入を呼びかける。
	地域住民	身近な地域の活動やイベントを手軽に入手でき, 気軽に参加していただけるきっかけとなるような情報発信を行う。



京都市の施策(案)
地域活動の呼びかけ動画の制作(様々な世代向け)
自治会・町内会等のスタートアップ・リスタート支援制度の創設
自治会・町内会の加入呼びかけチラシ(災害対策用)の制作・配布
地域活動を発信するアプリの制作・提供